

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22029	事業名	ごみ溶融処理施設大規模整備事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()							
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築				款	04:衛生費	
		施策の方向	04:廃棄物処理施設の適正管理				項	02:清掃費	
重点プロジェクト	-			目	02:塵芥処理費				
事業期間	H 27 年度 ~ R 7 年度		主な根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					

担当部署	
部	産業環境部
課	環境課 廃棄物対策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	<p>ごみ溶融処理施設は平成12年の稼働から長期間が経過し、主要な設備が耐用年数を迎えるなど老朽化が進行しており、施設の延命化を図っていく必要がある。</p>	ごみ溶融処理施設	ごみ溶融処理施設の延命化を図る。	<p>総合環境センター溶融施設長寿命化計画に基づき、主要な設備・機器の更新や改良工事を行う。また、さらなる延命化を進めるため、長寿命化計画の見直しを行う。</p>

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○大規模整備工事 ○長寿命化計画の改訂		○大規模整備工事		○大規模整備工事		○大規模整備工事	
活動実績 (計画通り実施できたか)		総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づき主要な設備、機器の整備工事を実施した。 ○溶融炉設備、溶融物処理設備など 現長寿命化計画を見直すための業務を発注し、今後の整備工事の方向性を検討する情報、資料を得た。		総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づき主要な設備、機器の整備工事を実施した。 ○溶融物処理設備		総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づき主要な設備、機器の整備工事を実施した。 ○通風設備、溶融物処理設備、計装設備			
③ 事業の実施状況 (P・D)	計画額	事業費	147,700千円	143,990千円	146,000千円	145,200千円	142,000千円	141,900千円	136,000千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円	
		地方債	108,000千円	107,200千円	109,500千円	108,900千円	106,500千円	106,400千円	102,000千円
		その他		0千円		0千円		0千円	
		一般財源	39,700千円	36,790千円	36,500千円	36,300千円	35,500千円	35,500千円	34,000千円
決算額	事業費		143,990千円		145,200千円		141,900千円		
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円		
	地方債		107,200千円		108,900千円		106,400千円		
	その他		0千円		0千円		0千円		
	一般財源		36,790千円		36,300千円		35,500千円		
①期間内計画額(R4-7)		571,700千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額 571,700千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	141,900千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	大規模整備工事の進捗率	実施済み事業費/総事業費	活動	%	計画値	65	77	89	100
				実績値	65	77	89		
				計画値					
				実績値					

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A		総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づき、主要設備、機器の整備を実施した。そのことにより施設の適正管理及び延命化が図られ、将来にわたる効率的なごみ処理が可能となった。
	十分な成果を得た	

(再掲)	事業の対象	事業の目的
	ごみ溶融処理施設	ごみ溶融処理施設の延命化を図る。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	適正なごみ処理を継続するためには、引き続き大規模整備工事を実施することが不可欠であり、今後も設備の整備時期や内容を検討していく必要がある。

⑦ 事業の 展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
	総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づいた大規模整備工事の実施(計装設備)。	総合環境センター溶融処理施設長寿命化計画に基づいた大規模整備工事の実施。

(履歴)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	産業環境部環境課廃棄物対策G 副参事(兼)GL小坂博文
最終評価者	産業環境部環境課 参事(兼)環境課長 村田博